

介護施設における労働災害防止のため 説明会と介護機器展が開催されました！



～腰痛・転倒災害防止対策や介護機器の導入について講演～

令和6年11月27日

茨城労働局（局長 澤口 浩司）および茨城県介護施設+SAFE（プラスセーフ）協議会（令和4年10月茨城労働局設置）は、令和6年11月27日（水）、茨城県総合福祉会館コミュニティホールにおいて、労働災害防止の説明会を開催しました。

説明会は、一般社団法人茨城県老人福祉施設協議会（会長 木村 哲之）および一般社団法人茨城県介護老人保健施設協会（会長 大場 正二）の後援により、約90名の介護施設の関係者が出席しました。

茨城県内の社会福祉施設における、令和5年の休業4日以上の労働災害の被災者数は、新型コロナウイルス感染症のり患を除き、269名であり、10年前の2.5倍に増加を示し、そのうち、転倒や腰痛等の行動災害は67%を占めています。令和5年度から始まった第14次労働災害防止計画では、重点対策の1つとして、「労働者の作業行動に起因する労働災害防止対策の推進」に取り組んでいます。



挨拶する江口労働基準部長

説明会の冒頭では、茨城労働局の江口勇次労働基準部長から、社会福祉施設における労働災害発生状況等を説明しました。その後、労働衛生コンサルタントの松葉齊氏からは講演の中で、リスクアセスメントの重要性について説明するとともに、腰痛や転倒予防の一環で健康体操の紹介もなされ、公益財団法人テクノエイド協会の五島清国氏からは介護機器の導入により介護者の負担軽減が期待できるものとして説明されました。説明会閉会時に茨城労働局の狩野直美健康安全課長から、この度の説明会と介護機器展の同日開催にあたり多くの協力を得たことに感謝の意を表し、今後更なる取組に期待すると伝えました。また、会場では茨城労働局の吉成地方産業安全専門官と更科労働基準監督官から各会員に会場案内を行いました。

なお、同会場のギャラリーでは、一般社団法人茨城県老人福祉施設協議会主催の介護機器展が開催され、出席者が説明会の合間に機器展を見学体験しました。



講師 松葉 齊 氏



講師 五島 清国 氏



介護機器展の様子

【連絡先】茨城労働局 健康安全課

電話：029-224-6215